

## 情報発信



## 熊谷市観光・文化財ナビゲーションアプリ



## ご案内

Information

- 開館時間…午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日…土・日曜日、祝日  
年未年始(12月29日～1月3日)
- 入館料…無料
- 駐車場…7台(うち身体障害者用2台)



### ■鉄道・バスご利用の場合

- \* JR高崎線・秩父鉄道「熊谷駅」下車  
・国際十王交通バス「小川町駅行き」、または「県立循環器呼吸器病センター行き」で大沼公園下車約20分  
・ゆうゆうバス「はたる号」で江南総合文化会館ピア前下車約27分
- \* JR高崎線「籠原駅」下車、ゆうゆうバス「はたる号」で江南総合文化会館ピア前下車約32分
- \* 東武東上線「森林公園駅」下車、車で約15分
- \* JR八高線・東武東上線「小川町駅」下車、「熊谷駅行き」国際十王交通バスで大沼公園下車約25分

### ■お車ご利用の場合

- \* 関越自動車道「東松山インターチェンジ」から約20分

## 熊谷市立江南文化財センター

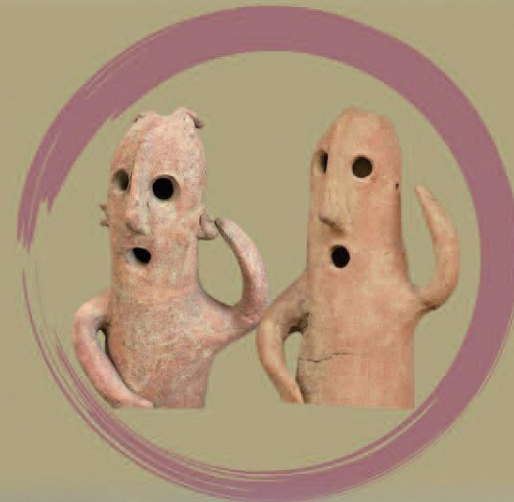
〒360-0107 埼玉県熊谷市千代329番地  
【TEL】048-536-5062  
【FAX】048-536-4575  
【URL】<https://www.city.kumagaya.lg.jp/>  
【E-mail】[c-bunkazai@city.kumagaya.lg.jp](mailto:c-bunkazai@city.kumagaya.lg.jp)

KUMAGAYA City  
KONAN Cultural  
Properties Center

KUMAGAYA City  
KONAN Cultural Properties Center

つくる、しる、ふれる

## 熊谷市立江南文化財センター



(地紋:熊谷染型紙)

つくる、しる、ふれる

埼玉県北部に位置する熊谷市は、丘陵・台地・低地と地形が変化に富み、また利根川・荒川の2大河川が流れ、この地で生活した各時代の人々の足跡が、多種多様な文化財として残されています。これらの文化財は、熊谷市の歴史や文化を解き明かす市民共有の貴重な財産です。

江南文化財センターは、これら文化財のうち主に埋蔵文化財出土品を収蔵・管理して後世に伝える役割と、整理・調査を行い、その成果を公開・活用する役割を担っています。

また、「つくる、しる、ふれる」を基本理念として、体験学習や企画展示、情報発信などを行っています。



収蔵品の中から資料を選んで、随時公開しています。  
また、テーマを絞った企画・特別展示も行っています。



文化財関係写真・図面を保管し、埋蔵文化財出土品の整理作業を行っています。



郷土の歴史を調べ、想像することから、郷土への理解・愛着を深めます。

## 旧石器時代 縄文時代



籠原裏遺跡  
尖頭器

中西遺跡  
縄文土器

中西遺跡  
みみずく土偶

熊谷市では、今から約2万6千年前の旧石器時代から、鹿島遺跡などで人々が生活を営んでいました。縄文時代になると、当初小規模な集落が点在していましたが、中期になると台地に西原遺跡などの大規模集落がつけられました。後期になると、沖積低地に上北浦遺跡などの集落が営まれるようになり、土偶や石棒、石剣、岩版、独鈷石などの特殊な遺物が出土しています。

## 弥生時代



諏訪木遺跡  
土偶形容器

横間栗遺跡  
再葬墓 弥生土器

前中西遺跡 石戈

弥生時代になると、扇状地末端部の湧水点及び小河川に沿った自然堤防に多くの遺跡が営まれ、稲作が行われていました。池上遺跡、北島遺跡、前中西遺跡など関東を代表する遺跡が多数営まれました。中でも前中西遺跡は、弥生時代中期(中葉)から後期(前半)にかけて営まれた大規模な拠点遺跡で、住居跡や墓跡から、土器、石戈、打製・磨製石器、管玉、土偶、土偶形容器などが出土しています。

## 古墳時代



立野古墳群12号墳 杏葉

女塚1号墳・権現坂埴輪窯跡  
武人埴輪

低地や台地の谷津田の開発が進み、大規模な集落が営まれます。熊谷市内には総数1,000基を超える古墳が造られたと考えられており、その古墳からは、勾玉、鉄剣、装飾品、馬具などの様々な副葬品や埴輪が出土しています。野原古墳からは、日本一有名な埴輪「踊る人々」が出土しています。この現物は東京国立博物館で展示されていますが、当センターではそのレプリカを展示しています。

## 奈良時代 平安時代



西別府廃寺 軒丸瓦

寺内廃寺 塑像

現在の熊谷市域には、幡羅郡・男衾郡・大里郡・埼玉郡・横見郡があったと推定されています。幡羅郡の郡役所(郡家)の関連遺跡として、国指定史跡幡羅官衙遺跡群・西別府祭祀遺跡、西別府廃寺があり、男衾郡の寺内廃寺は、武蔵国の上額寺の可能性が指摘されています。

## 中世



板碑

諏訪木遺跡 埋蔵銭

中世には、別府氏、長井斎藤氏、奈良氏、中条氏、成田氏、箱田氏、久下氏、村岡氏など在地の武士団が平安時代末期から活躍しました。諏訪木遺跡では、室町時代の埋蔵銭が出土しています。また、日本最古の紀年銘(嘉禄三年:1227)が刻まれた板碑が発見され、板碑発祥の地と考えられています。



土器や勾玉など、ものを作る体験をとおして、新たな創造の力を育みます。



勾玉づくり



埴輪づくり



土器拓本  
しおりづくり



資料を間近に見たり、古代体験をとおして、質感や雰囲気を感じることができます。



展示室



収蔵庫

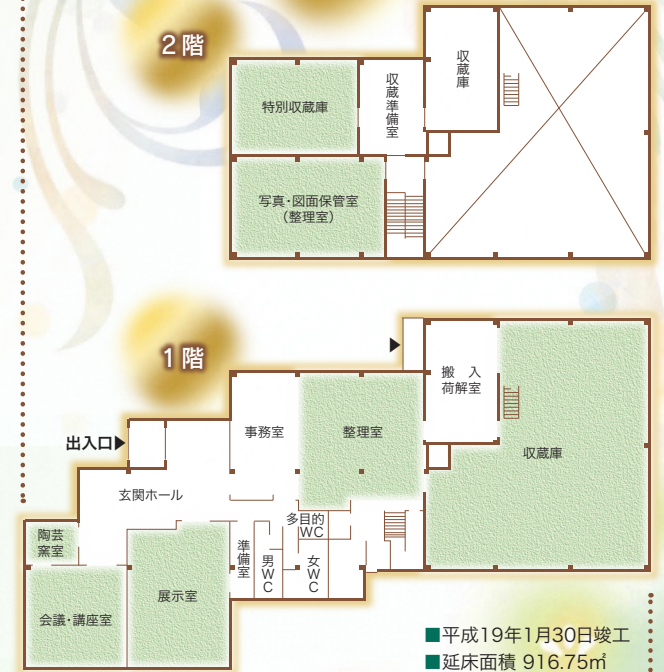


西別府祭祀遺跡古代祭祀体験イベント



遺跡見学会

## 館内図



## 玄関ホール床面を彩る絵画パネル 「小学生が描く熊谷の古代」



鈴木 佐英さん



楊 孝愛さん



岡部 心春さん



三浦 英愛さん